平成23年度 公共事業の再評価結果 一覧表

<u> </u>								元 	T
事	業 名	箇 所	名 T	1	事業			│ ૽ 公共事業評価	┃ ┃再評価の結果
種別	補助事業名	河川· 道路名 等	事業区間	事 業 採 択 年 度	全 体 事 業 費	総 投 資 額 (平成22年度まで) (百万円)	事業概要	公共事業評価 監視委員会で の審議状況及 び意見	対応方針
					(百万円)	(800)	進捗状況等	O 息 見 	理由
砂防	地域自主戦 略交付金事	寺垣内沢	下北 山村寺 垣内	平成 1 4 年度	989	822	新設砂防堰堤	事業の「継続」を妥当とする。	対応方針:継続
	業		Æ F)	† K			5基率 (土砂整備率) 82%		理由: 当該流域は荒廃が著しく、 次期景雨による土石流の発生が 懸念なれている。 主部 野所でいる。 宇子である。 ・財産・避難所が 保全である。
	地 域 自 主 戦 略 交 付 金 事	泉谷川	上北山村西原	平成 1 8 年度	1,798	634	新設砂防堰堤	事業の「継続」を妥当とする。	対応方針:継続
	· 以 · 立 争		J.T.	牛			5基率 (土砂整備率) 26%		理由は ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	社会資本整備総合交付	百々川北流	御所市関屋	平成 1 4 年度	1,800	1,600	砂 防 堰 堤 改 修 1 基	事業の「継続」を妥当とする。	対応方針:継続
	金事業			+ <i>I</i> X			報設 2 基 法 面 7 ンカーエ 59 9 本 進捗率 (土砂 整備率) 46 %		理由:当該流域は、平成10年の 台風により、荒廃念されている。 こよび害かららしい。 を主が災害がある。 とが終まからが、 は、の発生が災害がある。 を発生が必要である。 である。
道路	地 域 連 携 推 進 事 業	一般国道 1 6 8 号	川津道路	平成 1 7 年度	7,370	3, 580	工事延長 L=3.2km	事業の「継続」を妥当とする。	対応方針:継続
	严 不			平 及			事業進捗率48%		理由:幅員狭小および線形不良の解消を目的とし、災害に強い 紀伊半島アンカールートの確保のために必要な事業であり、早期の事業完了が必要である。
	社会資本整 備総合交付 金事業	一般国道309 号	丹生バイパス	平成 1 4 年度	4,647	2, 177	工事延長 L=2.4km	事業の「継続」を妥当とする。	対応方針:継続
	金事業			十			上三. 441		理由:幅員狭小、線形不良の解消を目的活性がある。とは、観光を中間の活性がある。といるである。

事	業名	箇 所	事 業 概 要				л <u>т</u> т	T-7. / T- 0. / t- P	
種別	補助事業名	河川・ 道路名 等	事業区間	事業採択 年度	全 体 事 業 費 (百万円)	総 投 資 額 (平成22年度まで) (百万円)	事業概要 進捗状況等	公共事業評価 監視委員会で の審議状況及 び意見	再評価の結果 対応方針 理由
道路	社 会資本整 備総事業	一般国道 1 6 8 3	王寺道路	平成13年度	11,843	10, 002	工事延長 L=1.5km 事業進捗率 84%	事業の「継続」を妥当とする。 (意見) 今後の交通事情の変化に対応 して事業を進めて頂きたい。	対応方針:継続 理由:交通容量を増大し交通渋行 での整備にしての では での変化で での では での でで で で で で で で で で で で で で で
	社 会総 全 会総 業	一般国道 1 6 8 2	香芝王寺道路	平成 1 8 年度	15, 100	1,740	工事延長 L=3.2km 事業進捗率 12%	事業の「継続」を妥当とする。 (意見) 今後の交通事情の変化に対応 して事業を進めて頂きたい。	対応方針 継続 理由 交通容量を増大しな通渋 活者の安生性をの変形である。 要な事業である。 現状である。
	社 会 会 全 全 会 会 会 表 学			平成 1 9 年度	6,320	601	工事延長 L=1.5km 事業進捗率 10%	事業の「継続」を妥当とする。	対応方針 継続 理由 交通容量を増大し交通渋 滞緩和大の変を増大しより歩行 者の安全性をのでは、 要な事業であり、 要なが必要である。
	社 会 会 会 会 業 者 章	(主) 枚方大和 郡山線		平成 1 0 年度	2,578	2,164	工事延長 L=1.1km 事業進捗率 84%	事業の「継続」を妥当とする。	対応方針:継続 理由:交通容量を増大しより 悪調を変更を増大しまり を が が が が で を で を り り り り り り り り り り り り り り り り
農道	地域 再生基	奈良東部地区 1 月 期地区 L		平成 8 年度	10,310	3, 575	進捗率 40% (平成23年度末) 工事延長 L=6,860m	事業の「継続」を妥当とする。	対応方針:継続理由により、、農産産物輸製活にといる、農産業機能ののでは、他には、他には、他には、他には、他には、他には、他には、他には、他には、他に